

かめおか認知症カフェ「みのり」

認知症の人やその家族が気軽に立ち寄り、交流や情報交換ができる場所です。専門職に相談することもできます。

とき 7月26日(木)、8月1日(水)、9日(木)

各日午後2時～4時

ところ Café Lier (かめおかゆう薬局敷地内、余部町)

対象 認知症が心配な人やその家族

内容 相談、交流

※8月1日は交流会を中心にを行います。

参加料 無料(喫茶費用は実費)

問 市役所1階高齢福祉課

TEL25-5117

※予約することもできます。

(高齢福祉課)

亀岡市宿泊施設の立地促進に関する条例を施行します

「亀岡市宿泊施設の立地促進に関する条例」を制定し、さらなる亀岡市内の観光振興と地域経済の活性化、および雇用機会の拡大を図ります。

宿泊施設(ホテル・旅館など)を新設・増設し、条例に定める要件を満たす場合、固定資産税について最大3年間の課税免除を受けることができます。

詳しくは、商工観光課の窓口にお問い合わせいただくか、市ホームページをご覧ください。

問 市役所3階商工観光課

TEL25-5033

ホームページ

<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/monozukuri/sangyo/sangyo/shinko/2018syukuhakushisetsuricchi.html>

(商工観光課)

「ライトダウン in かめおか」(保津川市民花火大会の日)にご協力ください!

本市では、地球温暖化防止のため、ライトアップ施設やご家庭の照明などを消灯していただく「ライトダウン in かめおか」を実施し

ています。市民、事業所および行政が一体となって節電に取り組むことで地球温暖化対策を日常的な行動につなげていきたいと考えていますので、可能な範囲で皆さんのご参加、ご協力をお願いします。

実施日 8月11日(土・祝)(保津川市民花火大会の日)午後7時～10時

実施報告 参加いただいた人は、市ホームページにアンケートフォームを掲載しますので、実施報告をお願いします(二次元バーコード、電話での報告も可能です)。

報告期間 8月24日(金)まで

※電話報告の受付期間は、午前8時30分～午後5時15分(土・日曜日、祝日を除く)

問 市役所1階環境政策課(8番窓口)

TEL25-5023、FAX22-3809

(環境政策課)



エアネス・レイジングチームマネージャー)

対象 どなたでも

問 市役所4階社会教育課

TEL25-5054、FAX25-5513

(社会教育課)

亀岡市 婚活イベント「みんな de 亀コン♥平成最後の花火大会」

とき 8月11日(土・祝)

午後4時～7時30分

ところ 小城製薬(株)亀岡工場(大井町)

※送迎希望者はJR並河駅ロタリーに午後4時集合

対象 20歳以上40歳以下の独身の人で、亀岡市民または亀岡市に興味がある人

内容 グループトーク、フリートーク、マッチング

定員 60人(男女各30人、定員を超えた場合は抽選)

参加料 1,000円(飲食代込み)

※イベント後に工場内から花火が観覧できます。お酒や料理も振る舞われます。

服装 カジュアルな服装

申し込み問 8月2日(木)<必着>までに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、電子メールアドレス、送迎の可否を記載の上、電話または電子メールで次へ市役所5階ふるさと創生課

TEL25-5060

電子メール

furusato-sousei@city.kameoka.lg.jp

※参加の可否は8月3日(金)に

電話または電子メールで連絡します。

(ふるさと創生課)

平成30年度人権教育講座(第2講座)

身近な生活の中にあるさまざまな人権問題を学び、正しい理解と認識を深めるとともに、気づきを行動につなぎ、人権感覚を養うための講座です。

とき 8月8日(水)

午後2時～4時

(午後1時30分から受け付け)

ところ ガレリアかめおか2階大広間

内容 講演「ぼくは13歳 職業、兵士。～世界の課題を知り、わたしにできることを考える～」

講師 栗田佳典さん(認定NPO法人テラ・ルネッサンス アウ

被爆体験記朗読会

「世界連邦・非核平和都市」を宣言する亀岡市では、戦争の恐ろしさを次代へと伝え、市内に広く平和意識の啓蒙を図ることを目的に、被爆体験記朗読会を次のとおり開催します。

とき 7月30日(月) 午後2時～3時

ところ 市役所1階市民ホール

対象 どなたでも(参加費無料)

内容 広島市の被爆者が記した被爆体験記や原爆詩を執筆者に代わり被爆体験記朗読ボランティア(国立広島原爆死没者平和祈念館登録)2人が朗読します。被爆のことを知りうる者のみが書き上げる真実や心情を読み上げ、家族や友人を失った悲しみ、焼け野原となった町の混乱などが目の前の出来事のように臨場感を持って伝わってきます。



当事業は、8月22日(火)に市内中学生の代表25人が広島を訪問し平和学習を行う事業「第2回“ヒロシマ”に学ぶ平和の旅」の参加者事前学習会を兼ねています。

(秘書広報課)